

勉強した時間だけ成果がある。
やる気が一番!

がんばりすぎずに 不合格が続いても
がんばりましょう。 前向きに考えよう。

自分のペースで努力していると
いつの間にか卒業が見えます。

友達を見つけましょう。

夢はあきらめなければ叶います。

スクーリングでの情報交換が大切。
モチベーションを保ちましょう。

何年かかってもあきらめず。

くじけそうになっても耐え、途中で
投げ出さなければなんとかなります。

何のために学ぶのか? 目的意識を
明確にすることが卒業に繋がります。

学ぶことができる喜びを味わ
い楽しんで勉強してください。

卒業生から 在学生へ

投げ出さずにがんばれば必ず卒業できます。

あせらず、急がず、自分のペース
でゆっくりすれば大丈夫です。

あきらめずに1科目ずつでも
いいから進めてください。

資格目指してFight!

勉強、スクーリング、実習。
自己管理が大切です。

目標に向かって
がんばってください。

努力はいつか報われるので最後
までがんばってください。

自分のライフスタイルに合わせて
効率よく学習しましょう。

「できない」と「やらぬ」
は全く違いますよ。

全てが終わった時の喜び
は自身に繋がります。

苦労と引き換えに
達成感を得られます。

遊んでリフレッシュすることも忘れずに。



私も先輩たちを見習って卒業と
仕事の両立に励みます。

通信で卒業にたどり着くことの
大変さ、実感しています。

通信でやり遂げたというかけがえのない財産
を糧に、未来に前進して行ってください。

くじけそうになった時にはぜひ
対処方法を教えてください。

毎日の努力の賜物ですね。
卒業後もそれぞれの分野でご活躍されると
思います。がんばってください。

おめでとうございます。
後に続きたい!

在学生から 卒業生へ

私もがんばります。

これだけのレポートやテストの山を
越えられたのですね。素晴らしい!
卒業おめでとうございます。
聖徳大学の学びを活かしてがんばってください。

通信教育は己との戦い。私も卒
業目指してがんばります。

そのがんばりと努力に
敬服します。

自ら学習計画を立てて勉強することは
大変だったと思います。お疲れ様でした。

Congratulations!

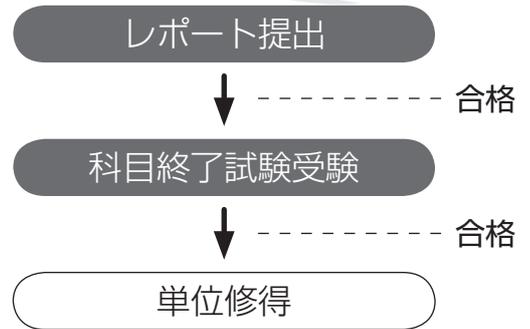
科目終了試験について

1 申込み手続き

通信科目では科目により単位数が異なります。1単位の科目では1つの課題に、2単位の科目では2つの課題に合格すると科目終了試験を受験できます。試験に合格すると単位修得となります。

また併用科目は、レポート合格とスクーリング合格により単位修得となるため科目終了試験はありません。

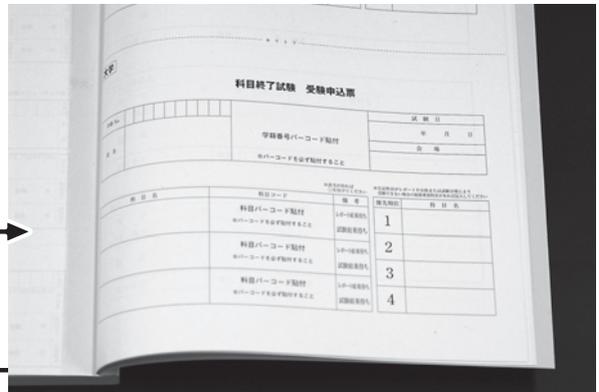
- ・ 1単位の科目…1つの課題
- ・ 2単位の科目…2つの課題



○ 聖徳通信などから「科目終了試験 受験申込票」を切離す



◀今年度より申込用紙が新しくなりました。
 新しくなった用紙は「履修と学習の手引」(大学)、「学習のしおり」(短期大学部)、「履修と研究の手引」(大学院)、毎号の『聖徳通信』に同封されています。



▲はさみで切離します。

▲新しい用紙はバーコード貼付け欄が目印です。
 ※古いものをお持ちの方は必ず新しい「科目終了試験 受験申込票」で申し込んでください。



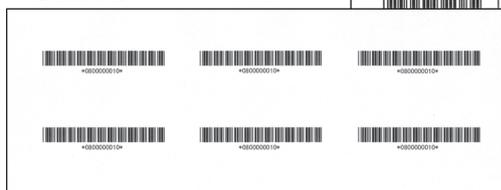
▲受験地など記入漏れがないかしっかり確認してください。

○ 申込みに必要なバーコード集

申込時にバーコードの貼付けが必要になります。

バーコードは下図のA、B欄に、のりまたはセロハンテープで剥がれないようにしっかりと貼り付けてください。

A 学籍番号バーコード集



B 科目バーコード集



大学

科目終了試験 受験申込票

学籍 No.	0812345678	試験日	XX年XX月XX日
氏名	鈴木 聖子	会場	松戸

A

科目名	科目コード	考	優先順位	科目名
XXXXXXXXXX	*A013*	結果待ち	1	
	科目バーコード貼付 ※バーコードを必ず貼付すること	レポート結果待ち 試験結果待ち	2	
	科目バーコード貼付 ※バーコードを必ず貼付すること	レポート結果待ち 試験結果待ち	3	
	科目バーコード貼付 ※バーコードを必ず貼付すること	レポート結果待ち 試験結果待ち	4	

B



○ 科目終了試験の申込みにには受付期間が設けられています。

受付期間は「履修と学習の手引」「学習のしおり」「履修と研究の手引」または、『聖徳通信』にてご確認ください。

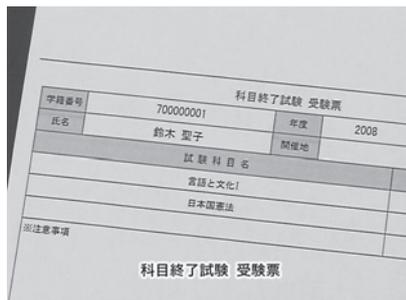
※1回の試験で受験できるのは3科目までです。



○ 科目終了試験 受験票の返送

申込手続きが済み、受験が認められた科目には「科目終了試験 受験票」が返送されます。(受験が認められない場合はその旨を通知します。)

科目終了試験は全国の会場で行われます。実施会場に関しましては本誌にある大学、短大それぞれの「科目終了試験について」のページをご確認ください。

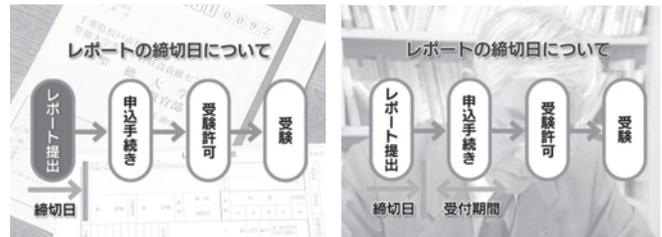


2 レポートの締切日

○ 提出期限には注意が必要です。

試験日ごとにレポート提出期限があります。

科目終了試験を受験するには期限までにレポートを提出してある必要があります。レポートの提出期限は試験日によって異なりますので、「履修と学習の手引」「学習のしおり」「履修と研究の手引」または、『聖徳通信』にてご確認ください。



○ 締切日は必着です。消印有効ではありません。

締切りまでに余裕がないときは、必ず間に合うよう、速達郵便や時間指定の宅配便などで発送しましょう。

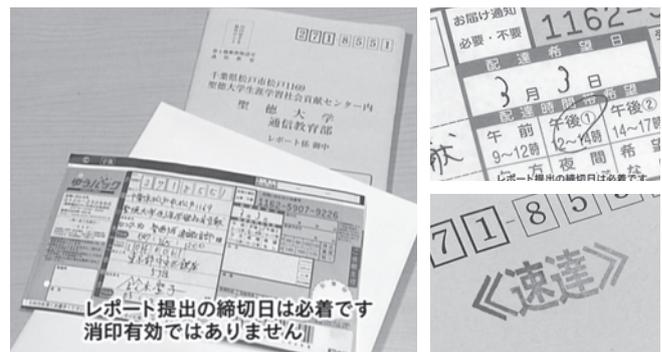
窓口取扱時間内であれば、通信教育学務課に直接提出することもできます。

・通信教育学務課窓口（10号館4階、5号館2階）

取扱時間 平日：8:30～17:30

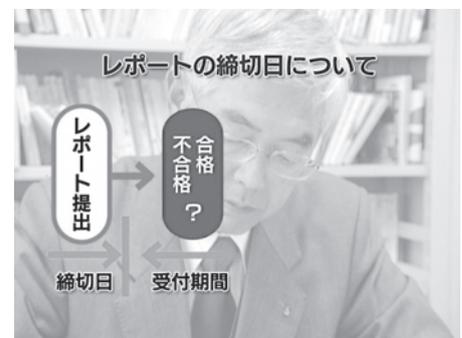
土曜日：8:30～15:00

年末年始・学内行事により業務を休止する場合がありますのでご注意ください。



3 受付期間までにレポートが返却されない場合

レポートの添削には所定の時間がかかります。そのため締切り間近に提出すると試験の受付期間までに返却されないことがあります。その場合はレポートに合格した見込みで科目終了試験の申込みをすることができます。受験が可能な場合、「科目終了試験 受験票」が返送されます。



レポートと科目終了試験の両方を合格することで単位修得となります。

科目終了試験合格後、レポートの不合格がわかった時は、レポートの再提出のみでかまいません。

教員からのアドバイス ～レポートの書き方について～

レポート作成のアドバイス —— 岡田 耕一

担当科目：(短大)保育原理Ⅰ-1、Ⅰ-2 (学部)保育原理Ⅱ

思うようにレポート作成ができなくて、悩んでいらっしゃる方がいるでしょう。でも、通信教育部に入学された方で、文章を書けない人はいません。書き方のコツがわからないだけです。以下のポイントを守ってレポート作成をしてください。

●ポイント1 「履修と学習の手引」「学習のしおり」「レポート課題集」をしっかり読みましょう

最初に「学習のしおり」の「レポートについて」を何度も読み返してください。どの教科にも共通する、「レポート作成の基本」について示されています。

次に「レポート課題集」で、各教科の先生方のアドバイスをきちんと理解しましょう。各教科の先生方が求めているものを、しっかりつかむことが大切です。

●ポイント2 レポートの形式(書式)を守りましょう

レポートの形式を守らずに、自分勝手に文章を書く人がいます。「履修と学習の手引」「学習のしおり」にも、レポート作成にあたっての原則が書かれています。もし十分に理解できないようでしたら、レポートの書き方についての参考書(薄いもの)を1冊だけ読んでください。

●ポイント3 レポートの「講評」を大切に活かしましょう

どのような評価であっても、先生方のレポート講評を次のレポート作成に活かしてください。そのことが、より良いレポート作成につながっていきます。

●ポイント4 通信生のレポートからのアドバイス

通信生のレポートから、皆さんにぜひ実行していただくポイントは次の通りです。

- ・ テーマを正確に理解してレポートを書きましょう(テーマとは関係のない内容は書かないこと)
- ・ テキスト、参考文献の写しをしてはいけません(長い引用は要約するように)
- ・ 小見出しをつけましょう(読み手にわかりやすい工夫を)
- ・ 「である」調で書きましょう(「である」と「です」を混ぜないように)